



すまいる新聞

目次(もくじ)

新年度のご挨拶	1 P- 3 P
すまいるニュース	2 P、 4 P
「おめでとう」の言葉に包まれて	4 P
あと3日、あと1日…今日はなかよしコンサート!	5 P
和さん、律子さん、HAPPY BIRTHDAY	5 P
すまいる情報	6 P

新年度のご挨拶

～すまいる10年目～

皆様に感謝の気持ちをこめて～

センター長

笹崎 明久

昨年度は、皆様には大変お世話になりました。今年度もすまいるをよろしくお願い致します。

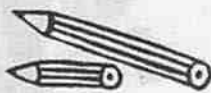
昨年度は、すまいるにとって変化の年度でした。すまいるの相談支援部門が、町福祉センターに活動場所を移動し、地域福祉の拠点機関である社会福祉協議会との連携強化を図りました。また、すまいる自体も地域福祉のコーディネーター役として各種取組をおこなってきました。相談支援部門の移動により、利用されている方々にはご不便をおかけしてしまいました。さて、今年度は障がい者施策の変化の年度でもあります。障害者自立支援法から障害者総合支援法になります。法の理念としては、「法に基づく日常生活・社会生活の支援が、共生社会を実現するため、社会参加の機会の確保及び地域社会における共生、社会的障壁の除去に資するよう、総合的かつ計画的に行われることを法律の基本理念として新たに掲げる。」とされています。大きなところでは、難病の方で対象になる方は障がいサービスが利用できるようになります。また、障害者権利条約の批准に向けて今後も法整備がおこなわれていきます。

地元を向けてみると、すまいる養育支援部門の卒業生から、一般就労した方がいます。実習を重ね、図書館流通センター(町図書館指定管理事業者)に就職が決まりました。多くの専門機関がかかわり、また障がい者雇用に理解し協力してくれた企業。そして、チャンスをつかみ取った本人。地元で育ち見守られ、地元で就職。とても理想の形だと思います。4月からは、中央図書館で、企業の一員として働いています。ぜひ応援お願いします。

今年度は養育支援部門の取組として、保護者の方との取り組みも増やしていきたいと思っています。今まで以上に地域との連携をはかりながら、障がいを持っていても安心して暮らせるよう障がい福祉の向上に努めてまいりますので、今後とも御指導とより一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

終わりに、皆様の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、新年度のご挨拶といたします。

終わりに、皆様の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、新年度のご挨拶といたします。



主任相談支援専門員 菅間 直子

先日、あるお母様から「高根沢は障がい者にやさしい町、それは健常者にとっても住みやすい町」ととてもありがたいお言葉をいただきました。相談支援業務につく者として冥利に尽きるお言葉として受け止めさせていただいたと同時に、「全ての方々にとって本当にやさしい町になっているだろうか」と改めて考える機会とさせていただきました。

すまいる相談支援事業は、障がいを持つ方とご家族のための相談窓口です。各福祉機関、医療機関、教育機関、行政等と連携を行いながら、地域で生活する障がいを持つ方やご家族にとって、身近な存在の相談支援を心掛けております。一人ひとり違った個性があるように、一人ひとりのニーズも多種多様です。当事者の方に関わるそれぞれの機関との連携を図りながら、丁寧に対応させていただくことを大切に考えます。

制度が目まぐるしく変わる昨今ではありますが、この相談支援業務の基本となる部分は変わりありません。これを改めて考えながら、皆さまと一緒に、“やさしい町”を目指していきたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。



相談支援専門員 武田 映子

チューリップの芽が次々と土から顔を覗かせ、少しずつ、暖かい空に向かってかわいらしい花を咲かせようと成長し続けています。児童館に行き、すまいる農園のチューリップもどんなチューリップが咲くのかな、と心待ちにしている私です。

我が家の娘も6年間通った保育園を卒園し、晴れて小学一年生になります。新しい環境のなかで「何人お友達ができるかな・・・お勉強って難しいの?」と不安を抱えながらもワクワクしている気持ちが伝わってきます。そんな娘を見ていると私も自然に笑顔がこぼれます。

春を感じますね☆

さて、私も昨年すまいる新聞で新人挨拶をさせて頂き、今年2度目のご挨拶となります。昨年は肩に力が入った1年ではありましたが、すまいるの子ども達やすまいるにご支援・ご協力を頂く皆様笑顔に助けられ、仕事への不安を「やる気」へと変えて頂きました。心より皆様に感謝しております。

人と人との結びつきが創り出す力は計り知れず、その結びつきがあるからこそ人は歩いていける事を実感させられております。今年度も新しい気づきや学びなど、いろいろな面で多くの刺激を得られる一年になるよう、人とのつながりを大切にして頑張っていきたいと思ひます。

改めて、今年度も温かいご支援をどうぞよろしくお願ひ致します。



～すまいるニュース・Part1～

お花を育てることが得意な、加藤芽生さん・小堀天音さんが中心となって、近所のお花屋さんへお買い物に行きました。今、活動場所にはピンク色とオレンジ色のお花が飾ってあって、二人が欠かさずに水やりを頑張っているんですよ～!

主任児童支援員 阿久津 淑子

すまいるの活動にいつもご協力、ご理解をいただきありがとうございます。

昨年度は、さつまいもの栽培を保護者の方と一緒に行いました。お忙しい時間の合間を縫って苗植えから収穫までの作業を行って下さいました。子どもたちも、大好きなお母さんとの作業は本当に楽しそうでした。今年度も保護者の方との連携をさらに深めて行きたいと思えます。畑作業の取り組みに、どうぞ協力よろしくお願いたします。また、たくさんのボランティアの方にも大変お世話になりました。学校までの送迎、陶芸教室、駅前花壇の整備、活動のお手伝いなど、色々な方との触れ合いの中で子どもたち共々、貴重な体験をさせていただきました。



3月、すまいるでは2人がご卒業されました。それぞれの道で活躍する先輩の姿を身近に見られることは、子どもたちの励みになると思います。4月からは、新しく2人の1年生が加わります。子どもたち自身も新しい学年になることをワクワクしながら待っています。

いつも大きな夢を持って進んで行く子どもたちに精一杯、応援ができるよう、私自身も1日を大切に過ごして行きたいと思えます。今年度もよろしくお願いたします。



児童支援員 人見 智之

私達が、子ども達に何を提供できるか考えた時に、家庭や学校ではできないような経験が挙げられると思います。昨年度も、先月行われた「仲良しコンサート」や中央小学校の学童さんとの「お楽しみ会」、春先から夏場に掛けて行った「宝積寺駅前花壇作業」、高学年のお友達が売り子として「エコフェスタ」に参加したこと、おもちゃ図書館さんや学生さんと一緒に「バス旅行」や「クリスマス会」等の活動を、色々な方々の協力を得て、行うことができました。一つ一つの経験が、貴重な財産になっていたらと思っています。

今年度も子ども達にとって、どのような経験（活動）が良いのか、共に成長出来るように、取り組んでいきたいと思えます。皆様方に御協力をお願いすることもあるかもしれませんが、どうか宜しくお願い致します。



児童支援員 助川 愛

「子どもを変えるのではなく、子どもが変わる」これは、以前、都立しいの木特別支援学校の佐藤比呂二先生の研修の際、お伺いした言葉です。大切なのは、本人がより良い自分を選び、自分の意思で変わること、だそうです。

昨年度を振り返りますと、その意味を改めて実感した1年でした。「好きなことを、もっと上手に出来るようにしたい」「自分のこういう部分を変えたい」さらには、「そのために、どんな方法を試してみるか」等々。子どもたちの表情や行動から、そのような強い意志を感じる事が多々ありました。

子どもたちが、自分の手で道を切り開いていこうとする、その気持ちに寄り添いながら、そして、そのパワーを分けていただきながら、児童支援員として頑張っていきたいと思えます。

「おめでとう」の言葉に包まれて



卒業式も済み、新しい生活の準備に忙しいお二人、太田千晶さん・人見真由さんに、“卒業お祝い会”の招待状をお送りしました。招待状は永井千春さんがプログラムなど文面を考え記入し、加藤芽生さん、鈴木琴絵さんが模様の色塗りやスタンプで仕上げたものです。

会場はみんなと過ごした思い出深いすまいるのボランティアルーム。参加した1人1人からお祝いの言葉がありました。「ご卒業おめでとうございます」「また、遊びにきてください」「お仕事、頑張ってください」。

進んで司会を行った小堀天音さんが、会場内を素早く移動し順番にマイクを渡しスムーズに進行すると、皆の言葉がきらりとさらに輝いていました。

千晶さんからの挨拶、一瞬、皆がシーンとなってすくっと立った千晶さんを見つめます。「いろいろお世話になりありがとうございました」。いつもより大きな拍手が皆から起こりました。



た。チキンやフライドポテトの美味しいご馳走をいただきながらのフリートークでは「リラックマは好きですか」など、質問があり、会は和やかな雰囲気になっていました。記念撮影や紙吹雪、皆の心に残る大切な1日になりました。

実習先から駆け付けて下さった人見真由さん。「真由ちゃん、卒業おめでとう」の声援とともに贈られたアルバムのプレゼント。「ありがとうございました」、落ち着いた態度で受け取ると思わず、にっこり。

すまいるでは会えなくても、同じ地域に住む先輩として、これからもよろしく願います。



～すまいるニュース・Part2～

先日、4月から中学生になる永渕由里菜さんが、真新しい制服を着て、挨拶に来てくれました。由里菜さんの可愛らしい姿を見て、お友達や職員と一緒に、大撮影会が始まりました。中学生になっても、由里菜さんらしく、頑張りたいです。また同じく中学生になる、古澤勇人さん・小堀航生さんの格好良い制服姿も見てみたいですね。



あと3日、あと1日…今日はなかよしコンサート!

3月2日(土)、児童館きのこのもり主催の、「なかよしコンサート」が行われました。すまいるは、今年で6回目の出演です。今年は、全3曲。①「くまのプーさん」合奏、②「ヘール・ホーリー・クイーン」(映画・天使にラブソングを)ゴスペル&リズム、③「フライングゲット」(AKB48)ダンスです。コンサート当日には、たくさんの方がいらっしました。



いよいよ、すまいるの番です。塚原勇樹さん(小4)と大金百さん(小5)は、ムードメーカーでした。2人の、溢れんばかりの笑顔や動きを見て、会場のお客さんもあっという間に笑顔に。そしていつしか会場中が、手拍子で一体となっていました。

子ども達は、コンサートを純粋に楽しむ一方で、もう一つの顔も見せてくれました。出演を重ねるごとに、自然と芽生えてきたのが、より良い演奏にしたいという向上心です。コンサートの練習を開始した頃の事です。永井千春さん(高2)の、「歌の歌詞カードはありますか?家で覚えてきたいんですけど。」という提案には、驚きました。高学年の千春さん、さすがの一言です。また、清野大介さん(中1)と小堀天音さん(中1)からは、「もっと上手に歌いたい。演奏したい。」という意気込みがひしひしと伝わってきました。一つ上達すれば、新たな課題を自分で見つけて、練習に取り組んでいました。当日、2人からは、努力に裏付けられた自信と皆さんと音楽を楽しむ様子が、感じられました。



和さん、律子さん、HAPPY BIRTHDAY!!

3月で17歳になった黒内律子さんと、16歳になった藤江和さんの誕生会を行いました。二人とも、とても誕生会を心待ちにしてくれていた様です。

律子さんは、久しぶりに会うお友達や職員に、とびきりの笑顔で一人一人声を掛けていました。インタビューやお話の中で、家ではお兄さん達と野球をして遊んでいること・お出掛けすることが大好きなこと、学校では現場実習に行ったこと等、近況をみんなに教えてくれました。



和さんは、すまいるに来るなり、「私、もう高校2年生になるんだよ。」と進級を嬉しそうに報告してくれました。その後は、大好きなアイドル「Hey! Say! JUMP」の話題で話が止まりません。誕生会では、次第に緊張もほぐれ、笑顔をたくさんみせてくれました。すっかりお姉さんになった2人の姿に、お友達は驚いていました。

みんな、大好きな二人が来るのを楽しみにしていたので、大盛り上がりの誕生会となりました。

3月の主な活動

- 1, 8, 15, 22, 29日 フリースペースゆめ (ステップアップ)
- 2日 なかよしコンサート
- 4日 栃木県障害者虐待防止・権利擁護研修
- 5, 12, 19, 26日 フリースペースゆめ
- 5, 6, 11日 成年後見制度普及啓発セミナー
- 5日 高根沢町介護・障害程度区分認定審査会
- 8日 フリースペース会議
- 10日 心の探検シンポジウム
- 12日 県自立支援協議会
塩谷地区障害者相談支援専門員連絡会
- 14, 28日 ひだまりふぁんの会 (さくら市)
- 16日 とちぎ防災フォーラム
- 18日 卒業生を送る会
さくら市障害程度区分認定審査会
- 19日 地域ケア会議
- 21日 フリースペース那須
- 26日 高根沢町介護・障害程度区分認定審査会
3月誕生会
- 27日 中央小学童とのお楽しみ会

4月の主な活動予定

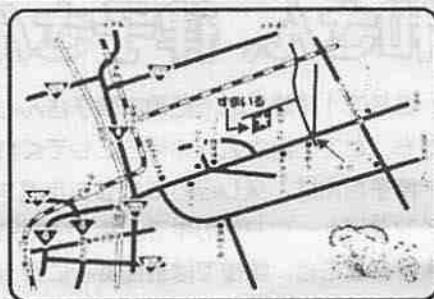
- 1日 新入生歓迎会
- 2日 フリースペース会議
高根沢町介護・障害程度区分認定審査会
- 2, 9, 16, 23日 フリースペースゆめ
- 3日 音楽会
- 5, 12, 19, 26日 フリースペースゆめ
(ステップアップコース)
- 9日 高根沢町介護・障害程度区分認定審査会
イオン黄色いレシート贈呈式
- 10日 御用聞き会議
- 11, 25日 ひだまりふぁんの会 (さくら市)
- 16日 ひだまりふぁんの会 (高根沢町)
地域ケア会議
- 18日 フリースペース那須
さくら市障害程度区分認定審査会
塩谷地区障害者相談支援専門員連絡会
- 30日 高根沢町介護・障害程度区分認定審査会

平成25年3月「障害児者生活支援センター すまいる」利用状況

○就学児デイサービス事業110人

〈内訳〉阿久津小23人、北小2人、のぎわ29人、南那須54人、宇大付属2人

＜編集後記＞物事の捉え方次第で、気持ちの受け止め方は違ってくると思います。例えば今年と言うと、今は既に3か月も過ぎていますが、今年度と捉えると、始まったばかりで気持ちが改まります。また普段見ている風景でも、目を凝らしてみると、小さな綺麗な草花が見つかったりします。いつも色々な視点を持っていると、嬉しい発見があって、ちょっとした事でも楽しく感じたりします。(人)



第108号(4月号) 平成25年4月13日 発行

【編集】 高根沢町障害児者生活支援センター すまいる

＜就学児デイサービス＞

〒329-1225 栃木県塩谷郡高根沢町石末2247-2

TEL 028-675-2163 FAX 028-675-2274

＜相談支援＞

〒329-1225 栃木県塩谷郡高根沢町石末1825 (高根沢町福祉センター内)

TEL/FAX 028-612-2751

E-mail: t-kinoko@bird.ocn.ne.jp

【発行】 特定非営利活動法人 とちぎ障害者労働自立センター ゆめ

〒329-1231 栃木県塩谷郡高根沢町宝石台1-1-14

TEL/FAX 028-675-7771